

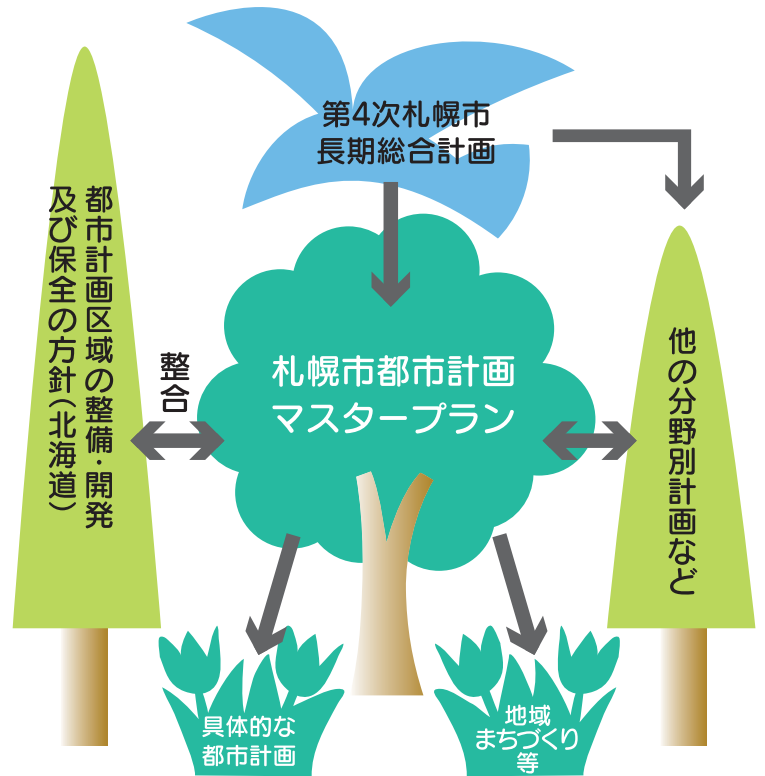
札幌の都市づくりの新しい指針です。

札幌の都市づくりの将来像と 取り組みの方向を整理します。

札幌はいま、人口や産業が急速に集中する拡大成長期から安定成熟期へと移行し、これを支える都市づくり(※)も大きな転換期を迎えています。「札幌市都市計画マスタープラン」は、これからの都市づくりの指針として、札幌が目指すべき将来像と取り組みの方向性を全市的な視点からまとめたものです。これにより、都市づくりの総合性・一体性を確保し、また、この計画を市民・企業・行政等都市の構成員それぞれに開かれ、共有されるものとして策定することで、今後の協働の都市づくりを推進する一助とすることが目的です。なお、「札幌市都市計画マスタープラン」は、第4次札幌市長期総合計画を上位とする中間計画で、都市づくりの分野を担い、他分野との連携・整合を図りながら定めます。また、北海道が定める広域のマスタープランである「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針(北海道)」との整合を図りつつ定めます。

- 目標年次:2020(平成32)年
- 将来人口:205~210万人
- 対象区域:本市の行政区域

※都市づくり:道路や公園の整備、建築物の規制誘導、緑地の保全創出など、主としてハード面での整備を対象にした取り組み。



[策定体制]

「札幌市都市計画マスタープラン」は、公募による勉強会をはじめホームページやニュースレターなど多様な機会を通じて市民のみなさんにプロセスを開いてきた一方、有識者や市議会議員、関係行政機関の職員などからなる都市計画審議会のアドバイスを受けながら策定を進めてきました。

